

NTTデータ

NTTデータ米国子会社が米・ルイビルに新BPO・ITOセンターを開設 ～ファーストユーザーとして、米Yum! Brandsの管理業務、情報システムを受託～

NTTデータの米国子会社であるNTT DATA, Inc.は、拡大する米国国内事業に対応するため、ケンタッキー州ルイビルに米国サービスデリバリーセンター(*)を開設することを発表した。この米国センターの開設により、顧客拠点に常駐するチームと米国内外のリソースを最適に組み合わせて、NTTデータのバランスの取れたグローバルデリバリーアプローチによる多様な選択肢を顧客に提供可能となる。米国センターは専門的スキルやコスト面で優れているだけではなく、地理的にも時差のない利便性の面で優れている。さらには、地元の教育機関や自治体のプログラムと連携して、現地の人材開発機会を提供する予定だ。

ルイビルの新センターは、開設当初から広範な業務プロセスサービス、アプリケーションサービスおよびクラウドサービスを提供する予定で、特に、財務・総務・人事プロセスサービスや、PeopleSoftアプリケーションサポートサービス、クラウド・マイグレーションおよび管理サービスに強みを持ち、NTTデータのサービスデリバリーネットワークを強化することとなる。NTT DATA, Inc.はこれまで、ケンタッキー州の官公庁や企業と長期にわたり強固な関係を築いてきた。当施設は地元の人材がケンタッキー州の官公庁や企業へのサービス提供を通じて先進的な技術に触れる機会を提供するとともに、NTTデータの国際的な顧客に対しても、NTTデータのサービスデリバリーネットワークを紹介する場としても活用する予定だ。

本センターの最初の顧客でありパートナーとなるのは、ケンタッキー州ルイビルに本社を持つYum! Brandsだ。同社は、ケンタッキー州ルイビルに本社を持つ世界最大のレストランチェーン企業で、世界130カ

国・地域に39,000店以上の店舗を持っている。2012年の売上げは130億ドル（日本円で約1.3兆円）で、フォーチュン500で201位に位置付けられている。傘下には、フライドチキンチェーンのKFC、ピザチェーンのPizza Hut、メキシコ料理チェーンのTaco Bellなどがある。同社からの業務支援チームをNTT DATA Inc.が受け入れ、Yum! Brands傘下のレストランチェーンやその他のNTTデータの顧客に対してサービスを提供する。

Yum! Brandsの財務・米国シェアードサービス担当バイスプレジデントのミッシェル・ウェルズ氏は「NTTデータとのパートナーシップにより、我々は、あらゆるサービスにおいてさらなる効率化と革新を起こすNTTデータの豊富な人材を活用することができます」と語っている。

NTT DATA, Inc.のビジネス・パフォーマンス・サービスの責任者であり、エグゼクティブ・バイス・プレジデントのアンデ・レイク氏は「新センターの最初の顧客がYum! Brandsであることを光栄に思います。また、NTTデータが特に強みをもつクラウドサービスやアプリケーション刷新化において、Yum! Brandsの戦略的目標の達成を支援できることを非常にうれしく思います。Yum! Brandsの米国ビジネスのニーズに応えるため、両者のパートナーシップを深めていきたいと思います」と語っている。

* サービスデリバリーセンター 財務・総務・人事等の業務プロセスサービス、各種アプリケーションサポートサービス、クラウドサービス等の情報システムサービスを提供するセンターで、米国市場向けには今回新設した米国センターに加え、カナダ、インドにデリバリーセンターがある。

NTTデータ TEL : 03-5546-8051